



おくすり通信

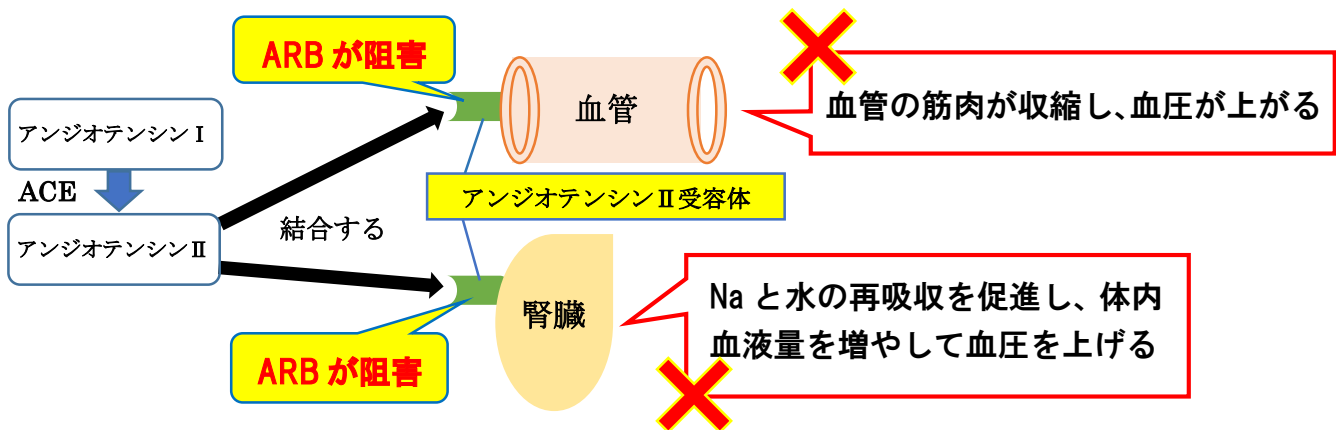
No. 36 アンジオテンシンII受容体拮抗薬 (ARB)

こんにちは、薬剤科です。今回は、血圧上昇ホルモン「アンジオテンシンII」を認識する受容体とそれに関わる降圧薬について説明していきます。

《アンジオテンシンII受容体とは》

前回は血圧を上昇させるホルモンが「アンジオテンシンII」であることを説明しました。今回はこのホルモンを感知する「アンジオテンシンII受容体」に注目してみましょう。

酵素であるACEによって作り出されたアンジオテンシンIIは「アンジオテンシンII受容体」に結合することで、初めて効果を示します。この受容体は血管や腎臓など多くの器官に存在します。受容体がアンジオテンシンIIを認識すると、血管では筋肉が収縮し、血圧が上昇します。また腎臓に作用するとNaや水の再吸収が起こり、血圧が上昇します。



《ARB: アンジオテンシンII受容体拮抗薬》

4月にご紹介したACE阻害薬は、アンジオテンシンIIを作り出す酵素ACEを抑制して血圧を下げていました。しかし、ARBはアンジオテンシンIIを感知する受容体そのものを阻害することで、血圧を下げます。ACE阻害薬、ARBともに血圧を下げる効果が高く、ARBはACE阻害薬の副作用である「空咳」や「喉の違和感」といった副作用がありません。またACE阻害薬と同様、動脈硬化や心不全、腎障害に対する予防効果も証明されています。以下に、具体的なARBについて示します。

《ARBの種類》

一般名	商品名	特徴
ロサルタン	ニューロタン	初のARBで多くの使用実績がある。降圧作用はやや弱い。
カンデサルタン	プロプレス	適度に血圧を下げ、持続性がある。心不全にも有効。
バルサルタン	ディオバン	半減期が短いため、1日2回投与の方が安定する。
テルミサルタン	ミカルディス	作用時間が一番長い。腎障害時にも使用できる。
オルメサルタン	オルメテック	血圧を下げる効果は、アジルバの次に強力である。
イルベサルタン	イルベタン、アバプロ	腎障害時の高血圧に対して、多くの使用実績がある。
アジルサルタン	アジルバ	降圧作用が最も強力。長時間持続し、夜間高血圧にも有効。

そのほか気になる点がございましたら、お気軽にご相談ください。